



オリジナルバージョン

セッション 12 自己評価

選択問題（合計 10 問）を使用して、セッションで学んだ「子ども同士のつながり作りの推進」について確認します。

1. 研究によると、失業、夫婦問題、犯罪行為、または薬物乱用は、
 - A. 家庭外に置かれた子どもたちの半数以上と関係がある
 - B. 家庭外に置かれた子どもたちの誰とも関係がない
 - C. 家庭外に置かれた子どもたちの大部分と関係がある
 - D. 家庭外に置かれた子どもたちの一部と関係がある

2. 以下の記述のうち、子どもたちの安全基地としてのつながりを築く首尾一貫した養育者の振る舞いではないものはどれか？
 - A. 養育者は子どもが恐れを感じたときに助けを求められる存在である
 - B. 養育者は子どもがバランスを保てなくても落ち着いて優しくする
 - C. 養育者は失業しても、倫理的かつ合法的な振る舞いを維持する
 - D. 養育者はよく、他の人の考えや気持ちを理解することについて子どもと対話をする

3. 安心できる関係を学校の先生と持てた子どもたちの学習能力が増すのは、
 - A. 子どもたちの能力を伸ばして、頭のいい子に育つから
 - B. 子どもたちが愛着システムの形成により集中するから
 - C. 子どもたちの興味を学習することから周りを観察・探索することに変える探索システムの形成を防ぐため
 - D. 探索システムが活性化され、勉強や学習が探索行動となるから

4. 子どもたちに集中することを教えるために、養育者は、
 - A. 子どもたちを長い時間、一人にして、1 つのおもちゃで遊ばせる
 - B. 情緒豊かな声やアイコンタクトを通じて赤ちゃんの興味をひきつける
 - C. 小休止を入れずに短時間のアクティビティを数多く子どもたちにさせる
 - D. 子どもたちをできるだけ長い時間、静寂な環境にさせる

5. 子どもたちに重要なこと（例えば、授業中の先生の話）に集中することを教えるには、
 - A. 教師は、重要な情報と無駄話を聞き分けられるように、子どもたちを騒々しい混雑した環境で過ごさせるべきである
 - B. 教師は、子どもたちが教師に対する強い感情を結び付けて教師が話していることに注意を傾けられるように、子どもの前向きな感情を呼び起こすべきである
 - C. 話をしている人ではなく、話の内容に集中することを学べるように、不特定多数の人たちが子どもたちをケアするべきである
 - D. 子どもたちは養育者以外の誰とも合わずに過ごすべきである



6. 子どもたちの意欲を長持ちさせるには、
- A. 子どもたちが失敗することに慣れて、不満への対処の仕方を覚えられるように、子どもたちに苦手なアクティビティを数多く取り組ませる
 - B. ひたむきさと好奇心を発達させるために、子どもたちに数多くのアクティビティをさせ続ける
 - C. 養育者自身が、前向きかつ好奇心旺盛で、赤ちゃんのあらゆる行動をプラス思考で捉える習慣を持つようにする
 - D. 子ども同士で遊ぶ時間を楽しくする
7. 子どもたちの学習能力を支えるために、子ども向けの昔からよくある遊びや歌を日常のアクティビティの予定に取り入れることは、
- A. 体を動かす、協調する、集中する、記憶するといった能力を発達させるため、良いことである
 - B. 子どもたちの視野を狭めるため、避けるべきである
 - C. 子どもたちが楽しんでリラックスできるため、良いことである
 - D. 一層騒がしくなるため、避けるべきである
8. 以下の記述のうち、（日課的）な仕事をする前につながりを作る、ということについて正しくないものはどれか？
- A. あらゆる年齢の子どもたちにとって、良質の養育は原則的なことである
 - B. しようとしていることを説明する前に子どもたちとアイコンタクトを交わす
 - C. とある状況での養育者の気持ちを、その気持ちに呼応する言葉で表現するべきである
 - D. 赤ちゃんの養育に重要なことであるが、幼児以上の子どもたちについては気を配らない
9. ゲームをして遊ぶことは、
- A. 単に娯楽活動であり、学習能力に作用するものではない
 - B. 一度にたくさんの子どもの相手ができるため、ケアしている子どもたちの数が多いときには有用である
 - C. 記憶力と認識力の発達を促す
 - D. 子どもの学習能力を発達させ、頭のいい子に育つ
10. ゲームは、子どもたちが何とのつながりを覚えられるために、学習能力を高める活動と見なされるのか？
- A. 養育者
 - B. 物
 - C. 子ども同士
 - D. すべて該当